



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 ブロードマインド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7343 URL <https://www.b-minded.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鶴沢 敬太 TEL 03 (6687) 1318
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,820	18.2	266	71.2	267	58.4	267	145.4
2022年3月期第2四半期	1,540	—	155	—	168	—	109	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 221百万円（96.9%） 2022年3月期第2四半期 112百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	50.53	46.84
2022年3月期第2四半期	20.64	18.53

（注）2021年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,088	3,261	79.7
2022年3月期	4,064	3,113	76.6

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 3,260百万円 2022年3月期 3,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,255	17.5	555	12.9	555	8.1	449	37.2	84.75

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2022年11月11日）公表致しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,433,416株	2022年3月期	5,395,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	125,071株	2022年3月期	125,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,297,684株	2022年3月期2Q	5,285,061株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残りながらも、行動制限の緩和が進んだことにより持ち直し基調にありましたが、他方で円安進行に伴う物価上昇圧力の影響を受け、家計の見通しは不透明さを増しております。

このような環境の下、家計の見直しに関するご相談のほか、米国の長期金利の上昇等を受け資産形成商品に関するご相談が増加したこと等に代表されるように、当社グループに対する相談も多く寄せられることとなりました。

当社グループでは、このようなマクロ経済環境の変化にも注意を払いながら、ライフプランニングのほか、保険・証券・住宅ローン・不動産をワンストップで提供してまいりました。また、コンサルタントの営業生産性の向上にも注力しており、オンライン相談の浸透、コンサルタント教育の効率化を軸に、効率的な事業運営に努めてまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,820,124千円（前年同期比18.2%増）、営業利益266,600千円（同71.2%増）、経常利益267,505千円（同58.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益267,700千円（同145.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,619,678千円となり、前連結会計年度末に比べ42,041千円増加いたしました。これは主に販売用の不動産仕入等が進行したことにより仕掛販売用不動産が461,882千円増加したものの、現金及び預金が334,663千円減少、売掛金及び契約資産が110,008千円減少したことによるものであります。固定資産は469,094千円となり、前連結会計年度末に比べ17,587千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が減少したことにより投資その他の資産が11,504千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,088,772千円となり、前連結会計年度末に比べ24,453千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は824,927千円となり、前連結会計年度末に比べ123,501千円減少いたしました。これは主に借入れの返済により短期借入金が50,000千円減少、納税したことにより未払法人税等が20,909千円減少、及び賞与の支給により賞与引当金が29,439千円減少したことによるものであります。固定負債は2,800千円となり、前連結会計年度末と同額であります。

この結果、負債合計は827,727千円となり、前連結会計年度末に比べ123,501千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,261,045千円となり、前連結会計年度末に比べ147,955千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が267,700千円増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が84,318千円減少及び海外子会社の清算により為替換算調整勘定が46,076千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.7%（前連結会計年度末は76.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ334,663千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,178,970千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は200,858千円（前年同四半期は95,800千円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益380,011千円を計上した一方、棚卸資産の増加額が463,281千円及び法人税等の支払額124,150千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は9,463千円（前年同四半期は58,784千円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6,085千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は125,597千円（前年同四半期は55,364千円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払額84,228千円、短期借入金の純減額50,000千円等があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の予想を修正致しました。詳細は、本日別途公表致しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,513,633	2,178,970
売掛金及び契約資産	665,602	555,594
販売用不動産	260,568	261,967
仕掛販売用不動産	88,080	549,962
その他	49,752	73,183
流動資産合計	3,577,636	3,619,678
固定資産		
有形固定資産	62,412	59,299
無形固定資産	30,585	27,616
投資その他の資産	393,683	382,179
固定資産合計	486,682	469,094
資産合計	4,064,318	4,088,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	—
未払法人税等	137,911	117,001
契約負債	204,558	188,346
賞与引当金	208,859	179,419
返金負債	99,160	97,446
その他	247,937	242,712
流動負債合計	948,428	824,927
固定負債		
資産除去債務	2,800	2,800
固定負債合計	2,800	2,800
負債合計	951,228	827,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,376	575,951
資本剰余金	471,376	477,451
利益剰余金	2,111,868	2,295,250
自己株式	△87,931	△87,931
株主資本合計	3,066,689	3,260,720
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	46,076	—
その他の包括利益累計額合計	46,076	—
新株予約権	325	325
純資産合計	3,113,090	3,261,045
負債純資産合計	4,064,318	4,088,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,540,332	1,820,124
売上原価	1,480	84,604
売上総利益	1,538,851	1,735,519
販売費及び一般管理費	1,383,138	1,468,919
営業利益	155,713	266,600
営業外収益		
受取利息	4,882	10
匿名組合投資利益	11,531	—
為替差益	—	1,559
物品売却益	—	703
その他	531	888
営業外収益合計	16,945	3,162
営業外費用		
支払利息	2,541	501
匿名組合投資損失	—	654
株式交付費	882	518
為替差損	27	—
その他	311	583
営業外費用合計	3,762	2,257
経常利益	168,896	267,505
特別利益		
関係会社清算益	—	114,052
特別利益合計	—	114,052
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	1,546
特別損失合計	—	1,546
税金等調整前四半期純利益	168,896	380,011
法人税、住民税及び事業税	45,978	102,322
法人税等調整額	13,828	9,988
法人税等合計	59,807	112,311
四半期純利益	109,089	267,700
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,089	267,700

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	109,089	267,700
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,449	△46,076
その他の包括利益合計	3,449	△46,076
四半期包括利益	112,539	221,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,539	221,623

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168,896	380,011
減価償却費	8,598	9,568
資産除去費用	933	933
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,669	△29,439
返金負債の増減額 (△は減少)	5,416	△1,714
受取利息及び受取配当金	△4,882	△10
支払利息	2,541	501
株式交付費	882	518
為替差損益 (△は益)	△650	△1,255
関係会社清算損益 (△は益)	—	△114,052
有形固定資産除売却損益 (△は益)	288	273
匿名組合投資損益 (△は益)	△11,531	654
売上債権の増減額 (△は増加)	△171,566	110,008
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,235	△463,281
未払金の増減額 (△は減少)	△40,131	△23,841
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63,491	△3,918
その他	141,996	58,828
小計	395	△76,216
利息及び配当金の受取額	2,845	10
利息の支払額	△4,524	△501
法人税等の支払額	△94,516	△124,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	△95,800	△200,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	60,000	—
有形固定資産の取得による支出	△656	△6,085
無形固定資産の取得による支出	—	△2,800
差入保証金の差入による支出	△996	△656
差入保証金の回収による収入	407	78
その他	30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,784	△9,463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	590	△50,000
長期借入金の返済による支出	△3,583	—
社債の償還による支出	△6,000	—
株式の発行による収入	98,589	8,631
自己株式の取得による支出	△41	—
配当金の支払額	△25,789	△84,228
上場関連費用の支出	△8,400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,364	△125,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	600	1,255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,949	△334,663
現金及び現金同等物の期首残高	2,167,093	2,513,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,186,042	2,178,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。